

当院は下記の調査を実施しています

課題名 長期療養高校生患者への双方向型オンライン授業の導入

調査の目的・意義

高校生がん患者長期入院に対し、学習支援システムを確立し、病状に合わせ、維持して学習するシステム構築を目指します。

調査の方法

当院で診療されている高校生のがん患者さんに対し、感染症流行下により、従来の学習支援システムを維持できず、学習塾講師、在籍校教諭の出入りが難しい状況です。

オンライン授業を導入し多様なメディアを高度に利用して、当該授業を教室以外の場所で履修可能にすることができないかと考えています。どの高校でも受け入れ可能なオンライン授業の方法が確立できるように高校側の受け入れ態勢を調査、ネット環境等を比較・集計し、モデル構築を導き出そうと思います。

このオンライン授業の導入方法が構築できれば、その方法を多くの病院や高校に取り入れてもらえる画期的な取り組みと考えます。

調査実施機関

研究責任者：国立病院機構九州がんセンター小児科 野口 磨依子
TEL：092-541-3231
FAX：092-542-8503

※調査へのご質問等がございましたら、上記までご連絡ください。